



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL http://www.yg-hotman.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役営業本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,221	△2.7	372	△17.2	435	△11.0	236	7.8
27年3月期第3四半期	16,671	△4.1	449	△40.6	489	△37.9	219	△47.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	32.52	—
27年3月期第3四半期	30.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	16,234	5,936	36.6	815.98
27年3月期	14,210	5,777	40.7	794.15

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,936百万円 27年3月期 5,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,630	7.6	410	19.7	430	6.5	210	107.2	28.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、当社は平成28年3月期第4四半期より連結決算に移行する予定です。連結決算の移行に伴う業績予想に関しては、平成28年1月22日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	7,275,500株	27年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	7,275,500株	27年3月期3Q	7,275,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済環境は、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調にあるものの、円安に伴う物価の上昇、記録的といわれる暖冬の影響による個人消費の伸び悩みなど、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社の出店エリアにおきましても、消費者の節約志向の継続に加え、平成27年11月以降の暖冬の影響により主力季節商品であるスタッドレスタイヤをはじめとする冬季用品の需要が平成28年1月以降にずれ込み、売上高は低調に推移致しました。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に「ホットマンは深化・進化・新化する集団〈行動の数だけ結果が出る〉」を掲げ、基本に立ち返り「挨拶」「掃除」「結果につながる行動」を3つの柱とし、消費増税に備え営業力の強化をはかって参りました。

平成27年4月に福島県本宮市と長野県安曇野市にイエローハット各1店舗の新規出店を行い、フランチャイズ契約の終了によりガリバー事業（3店舗）を撤退致しました。同年5月より新たにカーセブン事業（3店舗）を開始し、同年7月に長野県上田市にイエローハット1店舗、同年9月に秋田県秋田市にアップガレージ1店舗を新規出店致しました。当第3四半期累計期間末の店舗数は、イエローハットが85店舗（前年同期間比3店舗増）、TSUTAYAが10店舗、アップガレージが7店舗（前年同期間比1店舗増）、カーセブンが3店舗（前年同期間比3店舗増）、ダイソーが2店舗、自遊空間が1店舗、宝くじ売場が5店舗、セガが1店舗の合計114店舗となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は16,221百万円となり、前年同期間比450百万円（前年同期間比2.7%減）の減収となっております。経常利益につきましては435百万円となり、前年同期間比53百万円（前年同期間比11.0%減）の減益となりました。減益の要因は主として、売上高減少によるもの並びに既存店の改装や新規出店等の投資費用が増加したことによるものとなっております。四半期純利益は236百万円となり、前年同期間比17百万円（前年同期間比7.8%増）の増益となっております。増益の要因は主として、減損損失の計上額が前年同期間と比較し88百万円減少したことによるものとなっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、平成27年4月に福島県本宮市にイエローハット本宮戸崎店、長野県安曇野市にイエローハット安曇野店、同年7月に長野県上田市にイエローハット上田原店の新規出店を行いました。イエローハットの重点販売として、昨年に引き続き車検・整備を中心としたサービス部門の強化をはかると共に、リピート率の高いカード会員の獲得に積極的に取り組んで参りました。平成27年4月はタイヤ販売・車検等サービス部門の売上が好調であったものの、同年5月以降は振るわず、加えて同年11月以降の暖冬の影響により、主力季節商品であるスタッドレスタイヤをはじめとする冬季用品の需要が平成28年1月以降にずれ込み、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高12,912百万円（前年同期間比3.1%減）、セグメント利益（営業利益）は510百万円（前年同期間比17.3%減）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、主力であるレンタルと書籍販売で苦戦したものの、高利益商品の販売に注力し、減収増益となっております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,971百万円（前年同期間比2.0%減）、セグメント利益（営業利益）は68百万円（前年同期間比15.4%増）となっております。

[その他]

アップガレージ事業におきましては、平成27年9月に秋田県秋田市にアップガレージ秋田店の新規出店を行いました。売上高は同年7月以降低調に推移しておりましたが、同年11月以降比較的順調に推移致しました。

平成27年5月より新たに開始したカーセブン事業におきましては、車輛展示等の外部アピールを積極的に実施し、集客活動に注力致しました。低調に推移しておりましたガリバー事業と比べ、売上高は回復傾向にあります。

自遊空間事業におきましては、震災復興関連需要の鎮静化に伴い来店数が減少し、売上高は低調に推移致しました。

ダイソー・宝くじ事業におきましては、売上高は比較的順調に推移致しました。

なお、ガリバー事業（3店舗）につきましては、平成27年4月に撤退しております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,337百万円（前年同期間比0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同期間比10.1%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,885百万円増加し、9,099百万円(前事業年度末7,214百万円)となりました。これは主に、未収入金(その他の流動資産)が126百万円減少したものの、現金及び預金が1,493百万円、商品が545百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は137百万円増加し、7,134百万円(前事業年度末6,996百万円)となりました。これは主に、建設仮勘定(その他の有形固定資産)が150百万円減少したものの、建物が202百万円、構築物(その他の有形固定資産)が40百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産残高は16,234百万円(前事業年度末14,210百万円)となりました。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,907百万円増加し、7,367百万円(前事業年度末5,459百万円)となりました。これは主に、未払法人税等が104百万円、賞与引当金が89百万円減少したものの、短期借入金が1,550百万円、買掛金が207百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は43百万円減少し、2,930百万円(前事業年度末2,973百万円)となりました。これは主に、退職給付引当金が84百万円増加したものの、長期借入金が106百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は10,297百万円(前事業年度末8,432百万円)となりました。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は158百万円増加し、5,936百万円(前事業年度末5,777百万円)となりました。これは主に、四半期純利益を236百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

上記より平成28年3月期の通期業績予想に変更はありません。

なお、当社は平成28年3月期第4四半期より連結決算に移行する予定です。連結決算の移行に伴う業績予想に関しては、平成28年1月22日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,154	2,169,585
売掛金	470,167	542,957
商品	5,019,538	5,564,740
貯蔵品	1,409	1,529
その他	1,047,021	821,780
貸倒引当金	△60	△813
流動資産合計	7,214,231	9,099,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,403,772	2,605,897
土地	1,861,666	1,868,902
その他(純額)	678,068	595,599
有形固定資産合計	4,943,507	5,070,399
無形固定資産	71,646	62,538
投資その他の資産	1,981,331	2,001,436
固定資産合計	6,996,485	7,134,373
資産合計	14,210,717	16,234,153
負債の部		
流動負債		
買掛金	965,669	1,173,337
短期借入金	2,300,000	3,850,000
未払法人税等	241,729	137,394
賞与引当金	104,416	15,166
ポイント引当金	230,307	231,011
その他	1,617,318	1,960,225
流動負債合計	5,459,442	7,367,135
固定負債		
長期借入金	1,629,150	1,523,050
退職給付引当金	802,549	886,621
役員退職慰労引当金	129,495	132,801
資産除去債務	138,255	138,391
その他	274,010	249,498
固定負債合計	2,973,459	2,930,361
負債合計	8,432,902	10,297,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	3,224,552	3,388,384
株主資本合計	5,635,843	5,799,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141,971	136,980
評価・換算差額等合計	141,971	136,980
純資産合計	5,777,815	5,936,655
負債純資産合計	14,210,717	16,234,153

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	16,671,931	16,221,597
売上原価	9,822,984	9,354,467
売上総利益	6,848,946	6,867,129
販売費及び一般管理費	6,399,593	6,495,077
営業利益	449,353	372,052
営業外収益		
受取手数料	26,192	25,334
受取賃貸料	40,023	40,283
産業廃棄物収入	26,255	32,561
その他	29,292	32,967
営業外収益合計	121,763	131,147
営業外費用		
支払利息	49,869	38,223
賃貸収入原価	26,354	26,600
その他	5,509	2,719
営業外費用合計	81,733	67,543
経常利益	489,383	435,656
特別損失		
減損損失	96,410	7,964
固定資産除却損	535	890
特別損失合計	96,945	8,854
税引前四半期純利益	392,437	426,801
法人税、住民税及び事業税	204,387	141,678
法人税等調整額	△31,408	48,537
法人税等合計	172,978	190,215
四半期純利益	219,458	236,586

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハット	TSUTAYA	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,323,241	2,011,826	15,335,067	1,336,863	16,671,931	—	16,671,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,199	1,194	16,393	3,511	19,905	△19,905	—
計	13,338,441	2,013,020	15,351,461	1,340,375	16,691,836	△19,905	16,671,931
セグメント利益	617,695	59,215	676,910	69,154	746,065	△296,711	449,353

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アップガレージ事業、ダイソー事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△296,711千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	イエローハット	TSUTAYA	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,912,513	1,971,194	14,883,707	1,337,889	16,221,597	—	16,221,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,091	1,197	22,288	4,168	26,457	△26,457	—
計	12,933,604	1,972,391	14,905,996	1,342,058	16,248,055	△26,457	16,221,597
セグメント利益	510,624	68,311	578,936	76,114	655,051	△282,998	372,052

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アップガレージ事業、ダイソー事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△282,998千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。